

八戸工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	【留】日本語基礎ⅡA(0592)
科目基礎情報					
科目番号	2Z26		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	産業システム工学科環境都市・建築デザインコース	対象学年	2		
開設期	前期	週時間数	4		
教科書/教材	『中級』シリーズ、『ストーリーで覚える漢字』シリーズ、『留学生の日本語』				
担当教員	馬場 亜紀子,杉山 暦				
到達目標					
1. 標準的な文法・漢字・語彙を習得する。(中級前期文法、語彙3000語、漢字500)					
2. 留学生活で実際に直面する話題について、主要点が理解できる。					
3. 身近な話題について、まとまりのあるディスコースを産出できる。					
ループリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	標準的な文法・漢字・語彙を80%以上理解できる。	標準的な文法・漢字・語彙を60%以上理解できる。	標準的な文法・漢字・語彙の理解が60%に満たない。		
評価項目2	留学生活で実際に直面する話題についての主要点が、明確に理解できる。	留学生活で実際に直面する話題についての主要点が、ある程度、理解できる。	留学生活で実際に直面する話題についての主要点が、理解できない。		
評価項目3	身近な話題について、まとまりのあるディスコースを産出できる。	身近な話題について、まとまりのあるディスコースを産出できる。ただし、不慣れな印象やきこちなさを与えることもある。	身近な話題について、まとまりのあるディスコースを産出できない。		
学科の到達目標項目との関係					
ディプロマポリシー DP1 ○					
教育方法等					
概要	標準的な文法・漢字・語彙を学習する。また、この内容をもとに実際の使い方を練習する。				
授業の進め方・方法	【文法】 - 授業の中で適宜、語彙・文法の小テストを行う。 【漢字】 - 授業の中で適宜、漢字の小テストを行う。				
注意点	・宿題や課題の提出期限を厳守する。正当な理由なく提出が遅れた場合、評価を減ずる。 ・長期休暇中の宿題・課題も成績に含まれる。				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input checked="" type="checkbox"/> ICT 利用		<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1週	オリエンテーション 『中級ピンク』L3 『ストーリーで覚える漢字』第21～22回	<ul style="list-style-type: none"> 本授業の目標と進め方、注意点を確認する。 例を表すことができる。 同じものがたくさんある、同じことが何度も起きることを述べることができる。 第三者の願望を表すことができる。 してはいけないことだと自覚していることを無意識にってしまうことを述べるができる。 理由を強調して述べるができる。 他の事物にたとえることができる。 		
	2週	『中級ピンク』L4 『ストーリーで覚える漢字』第23～24回	<ul style="list-style-type: none"> ある事柄について、これまでの推移・変化や今後の推移・変化を表すことができる。 グラフや表からわかることを端的に説明できる。 比較表現を整理する。 		
	3週	『中級ピンク』L5 『ストーリーで覚える漢字』第25～26回	<ul style="list-style-type: none"> 形容詞を名詞化できる。 連用終止形を使うことができる。 本来そうであると思われることを表すことができる。 伝聞表現を整理する。 長い文の特徴を掴む。 		
	4週	『中級ピンク』L6 漢字第17～26回の復習、まとめテスト	<ul style="list-style-type: none"> 受身文において行為者を「によって」で表すことができる。 「ために」の使い方を整理する。 同一の状態が継続していることを表すことができる。 (漢字第16回までで) 日本語能力試験 N4 程度の漢字語彙を習得する。 		
	5週	『中級ピンク』L7 『留学生の日本語』L1	<ul style="list-style-type: none"> 過去の状態やよくおこったことを思い出して述べるができる。 立場・資格をはっきり表すことができる。 想定されるものと実際の状況が異なることを表すことができる。 会話中、主題となっている事柄を取り上げ、それについての意見や判断を述べることができる。 条件表現を整理する。 要望を表すことができる。 		

		6週	『中級ピンク』L8 『留学生の日本語』L2	<ul style="list-style-type: none"> ・ある期間中に行われる行為について、その頻度・回数に応じて正確に述べることができる。 ・部分否定を使い、想定されることを婉曲的に述べることができる。 ・頻度の低い行為について述べることができる。 ・ある動作が実現するまで、別の動作をずっと続けることを表すことができる。 ・状況に応じて変化することを表すことができる。
		7週	『中級ピンク』L9 『留学生の日本語』L3	<ul style="list-style-type: none"> ・一方の変化とともに他方も変わることを表すことができる。 ・前文を分かりやすく言い換えたり、まとめたりすることができる。 ・前文に対立する内容を導くことができる。 ・「である」体が使える。 ・使役・受身・使役受身の表現を整理する。 ・公的な場で要望・願望を伝えることができる。
		8週	到達度試験とフィードバック	
	2ndQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
16週				

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
	到達度試験	漢字まとめテスト	小テスト	宿題・課題の提出	合計
総合評価割合	30	30	30	10	0
基礎的能力	30	30	30	10	0